



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY

文 - 1 - 2

科学技術イノベーションによる 未来社会創造プラン

平成28年6月2日

文部科学省 科学技術・学術政策局長

伊藤 洋一

文部科学省 科学技術改革タスクフォース（平成28年4月）を元に作成

科学技術イノベーションによる未来社会創造プラン

～文部科学省 科学技術イノベーション中期戦略～

「これからの日本は、科学技術で稼ぐ。科学技術で、豊かになる。科学技術を課題解決の要とする。」

労働人口減の中、強い経済（名目国内総生産600兆円）実現のためには、
経済・社会システムの大幅な革新をもたらす生産性向上が鍵

そのための**駆動力となる科学技術イノベーションの取組**を、
「第5期科学技術基本計画（平成28年1月閣議決定）」や、産業競争力会議の議論を経て策定される「日本再興戦略改訂2016（平成28年6月頃閣議決定予定）」等を踏まえて**戦略的に展開**

**文部科学省の存在意義（レゾナードル）を再認識し、国として対応すべき取組を厳選し
その実現に必要な予算を確保して、施策に取り組むことが必要**

- 持続的にイノベーションを産み出し、日本の成長を中長期的に支えるため、初等中等教育段階から高等教育段階、さらには産業界のニーズを踏まえた人材育成まで、**一貫通貫での体系的な人づくり**
- 国民の安全・安心の確保など直面している**諸課題解決に向けた取組**や、国家戦略上重要な**大型研究開発の推進**
- 国立研究開発法人やポテンシャルの高い指定国立大学法人等を核とした**イノベーション・エコシステム（仕組み）の構築**、大学等を中心とした**地域発のイノベーションの創出**に向けた支援
- イノベーション活動の基盤となる**大型施設・設備等の持続的な運用・高度化**、イノベーションの源である**多様で卓越した知の資産の持続的創出**

科学技術イノベーションによる未来社会創造プラン

～文部科学省 科学技術イノベーション中期戦略～

大変革時代に対応した柔軟性を持ち、最大効率的に、国民の安全・安心をもたらしつつ、持続的発展が可能な社会の実現を目指して、**3つの力**を強化

3つの「力」が
相互に作用し合うことで
持続的にイノベーションを創出



第1の力「基盤力」

- ✓ 先行きの見通しが立ちにくい大変革時代において、持続的発展を遂げていくためには、柔軟かつ確に対応出来る「基盤力（人材、施設・設備・情報基盤等、多様な卓越した知）」が極めて重要

第2の力「共創力」

- ✓ 限られた財政資源の下、最大効率的に持続的発展を遂げるためには、国立研究開発法人や大学を核とした、イノベーションをエコシステムとして共に創り上げる環境（「共創力」）が必要不可欠

第3の力「課題対応力」

- ✓ 国民の安全・安心を守りつつ、持続的発展を遂げるためには、国内外で顕在化する諸課題をいち早く捉まえる洞察力と、成長の原動力となるための技術開発が必要不可欠

イノベーションを駆動力として生産性向上を実現し、
持続的な社会・経済発展をもたらす未来社会を創造

未来社会創造プランと第5期科学技術基本計画

未来社会創造プラン

第1の力「基盤力」

- ✓ 先行きの見通しが立ちにくい大変革時代において、持続的発展を遂げていくためには、柔軟かつ的確に対応出来る「**基盤力**（人材、施設・設備・情報基盤等、多様な卓越した知）」が極めて重要

第2の力「共創力」

- ✓ 限られた財政資源の下、最大効率的に持続的発展を遂げるためには、国立研究開発法人や大学を核とした、イノベーションをエコシステムとして共に創り上げる環境（「共創力」）が必要不可欠

第3の力「課題対応力」

- ✓ 国民の安全・安心を守りつつ、持続的発展を遂げるためには、国内外で顕在化する諸課題をいち早く捉まえる洞察力と、成長の原動力となるための技術開発が必要不可欠

第5期科学技術基本計画 （主な関連の記述）

第2章 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組

- (2) 世界に先駆けた「超スマート社会」の実現
- (3) 「超スマート社会」における競争力向上と基盤技術の強化等

第4章 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化

- (1) 人材力の強化 (2) 知の基盤の強化 等

第7章 科学技術イノベーションの推進機能の強化

- (1) 大学改革と機能強化
- (2) 国立研究開発法人改革と機能強化 等

第5章 イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築

- (1) オープンイノベーションを推進する仕組みの強化
- (2) 新規事業に挑戦する中小・ベンチャー企業の創出効果等

第7章 科学技術イノベーションの推進機能の強化【再掲】

第2章 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組【再掲】

第3章 経済・社会的課題への対応

- (1) 持続的な成長と地域社会の自律的な発展
- (2) 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現
- (4) 国家戦略上重要なフロンティアの開拓 等